

地域包括センターについて

高齢者が健やかに暮らすためのあらゆる相談に対応する地域の総合相談窓口です。

地域包括支援センターでは、大きく分けて3つの相談業務を行っています。一つ目は介護や健康について、

「介護保険を利用したい」「介護予防を実践したい」「今の健康を維持したい」といった高齢者の介護や健康についての相談に対応し、要介護認定の申請の代行や、介護予防のためのケアプランの作成、受けられるサービスの紹介などを行っています。

二つ目は権利や財産について、
「近所の高齢者が虐待にあっている気がする」
「悪徳商法や振り込め詐欺の被害にあった」
「認知症などで財産管理に自信がない」といった高齢者の権利や財産などの不安についての相談に対応し、被害の防止や救済、制度の紹介などを行っています。

三つ目は、地域での暮らしについて、高齢者がいつでも住み慣れた地域で安心して暮らせるように、さまざまな関係機関や地域住民のみなさんと協力できるネットワークづくりを進め、その中心的な役割を担っています。



安佐・安佐南地域包括支援センター

を担当しています。困りごとなどありましたら、お気軽にご相談ください。

広島市安佐・安佐南
地域包括支援センター
広島市安佐南区中須二丁目
19-6 虹の会館3F
電話 879-1876
受付時間
月～金
8時30分～17時30分
第1・3・5 土
8時30分～12時30分

「いきいき100歳体操」担当の今岡です。地域の高齢者誰もが参加でき、地域住民同士の交流を深めるとともに、介護予防の運動を行っています。参加者から、歩行が楽になったなど良い意味で体調に変化があり好評です。参加者同士がお互いに気に掛ける場面もあり、緩やかな見守りになっていきます。

高齢者いきいき活動ポイントの対象事業であり、会場や世話人が確保できれば簡単にを行うことができますので、声を掛けてください。
「4月新採ニューフェース」朝原です。私は4月に包括支援センター職員となり高齢者の相談業務を担当しています。社協の「地域高齢者サロン」や老人クラブなど地域の会合で高齢者向けの情報を提供しています。健康第一、楽しく過ごしましょう！

向けて、制度の周知に努力したいと考えています。

編集後記

古市学区は、昭和20年頃まで、安川や太田川の氾濫があり大きな被害がありました。このため、安川の改良工事(安川と古川を合流)が始まり、昭和30年の工事完了後は安川の出水があつたものの氾濫はありませんでした。

しかし、今年7月上旬の九州南部で3日も雨が降り続き、土砂崩れや河川の氾濫を警戒し、59万人超に避難指示が出た鹿児島市の様に、大雨が数日続くと安川や太田川が氾濫する可能性ががあります。我が地区も災害の危険性があることを認識し、自分の命は自分で守るといふ「自助」意識を高める必要があります。

防災マップなどにより、
①自分の住んでいる地域の
②行政、気象庁の避難情報の発令区分のこと
③避難場所のことを考える機会を持ちたいと思います。

社協ふるいち

No. 37 発行責任者 依田 操一

古市学区社会福祉協議会の会長交替



新会長 依田 操一

この度、古市学区社会福祉協議会の会長に就任することになりました。歴史のある古市学区社会福祉協議会の会長を引き受けるにはあまりにも荷が重く、浅学菲才、高齢でもあり動まらないのではないかと何度もお断りしましたが、諸先輩方の助言もあり引き受けることになりました。

前任の会長は長いキャリアと行動力で古市学区社会福祉協議会を導いてこられました。未経験の小生にはとても重責と承知しています。しかし引き受けたからには、ベストを尽くして頑張りたいと考えております。総会において決議



前会長 種清 和夫

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと、このたび古市学区社会福祉協議会会長を退任いたしました。平成18年に会長職という身に余る大任を仰せつかり、以来十数年の長きにわたり、学区の皆様のご理解

のまちづくり委員会」の取り組み方針を再検討して継続開催し町民福祉の増進に尽力してまいりたいと存じますので、役員をはじめ、協議員、各種団体、町民の皆様のご協力の程、切にお願い致しまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

とご協力、また副会長をはじめ、関係機関・関係団体の多くの皆様のひとかたならぬお力添えを賜り会長職を今日まで務めさせていただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

この間、本市においても少子高齢化が一層進み、家庭環境や社会構造が大きく変化し、家庭や住民同士のつながりも希薄化する中、地域の福祉を取り巻く環境も大きく様変わりし、学区

社会福祉協議会の役割も大きく変わってまいりました。そうした中、古市学区社会福祉協議会の活動目的でもある「皆が声かけあつてあかるいまちにしよう」この思いを胸に、微力ながら職を務めさせていただきます。

振り返れば、いきいきサロンの開催や幼稚園・保育園との交流、見守り活動、平成23年からのボランティアバンクの開設等々、どの取組も皆様の深いご理解とご協力によるところが大きいです。改めて深く感謝申し上げます。

最後は、古市学区社会福祉協議会の今後ますますの発展と古市学区の皆様のご健康を祈念いたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。

囁き春秋

数か月前になるが新聞で「広島ドライバーはマナーが悪い。横断歩道で待っているでも停車してくれない。」との記事が出たことがある。全国的にも広島はワーストの部類に入るそうだが、記事の後、効果があつたのか、横断歩道で待っているでも停車する車が増えてきたような気がする。

一方、青信号の間に横断歩道を渡りきれない高齢者が増えている。高齢歩行者の安全確保が求められている。高齢ドライバーの事故が問題になっているが、高齢者は交通弱者であることに変わりはない。

団塊の世代が、高齢者世代になってくる。自動運転が普及すれば解決するのではあるが、自動運転に過度な期待はできない。自動運転車が早急に普及するのを期待したい。



中学校生徒、PTA、各種団体が一緒に行う「ふれあい清掃」

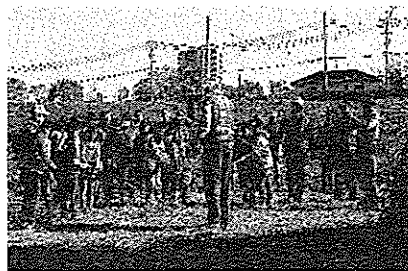
(1)きれいなまちづくり
町内会・自治会、老人会が生活道路・水路清掃や門前清掃を実施。

「安佐南区で一番住みよい町をモットー」に誰もが安心して暮らせる古市学区を目指して、平成二十二年度に策定した「福祉のまちづくりプラン」について、取組状況の検証や今後の活動方針・課題をまとめました。当初計画と比べ十分と言えないものもあります。計画を推進する中で、学区内の問題や課題を解決

まちづくりプランの状況について

まちづくり委員会

するには住民同士の協力や結束が必要不可欠です。今後、高齢社会が到来し、福祉に関する課題が複雑、多岐になり、福祉対策が公助から共助に移行する中、「地域の役割」が増えることとなります。策定したプランの実現には、地域の皆さんの協力が必要です。引き続き、皆さんのご協力・ご支援をお願いいたします。



「とんど」 河川を清掃後に実施

(2)安心安全なまちづくり
◎見守り活動
平成30年2月「古市あんしんネット」を創設。



青少協、民生委員、PTA、安全協会、老人会等の団体が実施

「避難行動要支援者支援事業」を民生委員と町内会・自治会が実施、民生委員が訪問・相談等に対応。
◎防犯活動
学区防犯パト・中須防犯パトが地区内通学路等の夜間パトロールを実施。

(3)ボランティアバンクの創設
平成23年10月に「ボランティアバンク」を設立、古市集会所で週2回受付。



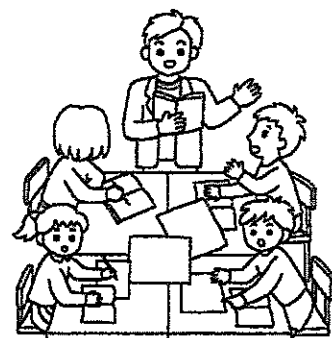
毎週月曜日と水曜日 午後1時～4時まで電話受付を実施。ゴミ出しや植木せん定等の依頼がありました。

(4)公共施設の利用促進
運営委員会が旧幼稚園建物を市から無償で借り受け、地域の会議やサークル活動に利用。



サークル活動
オリブの会

(6)町内会の色分け地図づくり
①地域の行事等活動がまちまちである。
②繰越金や会費の調整が必要である。
③高齢化により役員の確保が難しい。等の問題があります。今後、再編の必要性を関係町内会長へ説明し、再編の考えに賛同した町内会から順次、課題を整理する取り組みを行う。【出来るところから取り組む】



(5)町内の道路の愛称募集
古市小学3年生児童による「総合的な学習」で実施の予定。

令和元年度総会 無事終わる

令和元年度の古市学区社会福祉協議会の総会を令和元年6月24日(月)安佐南区総合福祉センターで開催しました。平成30年度決算報告など6議案と1件の報告について審議頂き、
①繰越金が多いのでは？、
②敬老会の経費執行の見直し、について建設的な意見があり、実のある総会でした。いずれの議案も賛成多数で承認されました。

- 審議された議案は、
- ①平成30年度事業報告
 - ②平成30年度決算報告・監査報告
 - ③令和元年度事業計画(案)
 - ④令和元年度予算(案)
 - ⑤令和元年度事業実施計画(案)
 - ⑥役員・協議員改選の6議案です。
- 承認されました「令和元年度事業実施計画」の概要

平成30年度収支報告書

収入の部	予算額	決算額
前年度繰越金	592,180円	592,180円
古市学区連合町内会助成金	300,000円	300,000円
共同募金安佐南区分室	5,000円	5,000円
区社協助成金等	591,450円	591,450円
協賛金等	101,406円	101,406円
合計	1,590,036円	1,590,036円

支出の部	予算額	決算額
管理運営費	65,000円	38,999円
活動費	90,000円	56,973円
福祉のまちづくり事業	800,800円	631,046円
研修会等参加費	82,000円	47,000円
事業負担金等	140,000円	130,000円
雑費	15,000円	15,000円
予備費	397,236円	0円
合計	1,590,036円	919,018円

1,590,036円 - 919,018円 = 671,018円
につきましては、次年度繰り越します。

①あなたとつくる支えあいのまちをモットーとし安佐南区で一番住みよい町を目指す。
②誰もが安全・安心して心豊かに暮らせる地域づくり。
を推進し、住民及び町内会並びにその他各種団体が連

携を図り、地域が最も必要としているものを把握して取り組むことに努めることを基本方針として、次の6つの事業に取り組みます。
①「福祉のまちづくり委員会」を継続して開催し、実践活動に結びつける。
②救急医療情報キットの継続整備。

③ ボランティアバンク活動の推進。
④ 近隣ミニネットワークづくりの推進。
⑤ ふれあい・いきいきサロン活動の推進。
⑥ 広報活動の推進。
また、役員・協議員の任期は2年間で、今回改選の時期となります。前会長等から辞任の申出があり、会長以下役員・協議員を改選しました。改選された役員・

協議員は次のとおりです。

- 「役員」
- 会長 依田 操一
 - 副会長 松本 晃幸
 - 福祉推進委員 山口 高正
 - 監査 門田 昭司
 - 理事 篠田 徹
- 「協議員」
- 古市学区連合町内会 会長 古川 明
 - ファミール広島自治会 会長 土岡 美喜
 - 下古市国宗西組 組長 猫本 澄子
 - 下古市西下組 組長 油浦 稔
 - 薦が島団地自治会 会長 谷本 茂
 - フローレンス中須自治会 会長 田中 弘幸

